



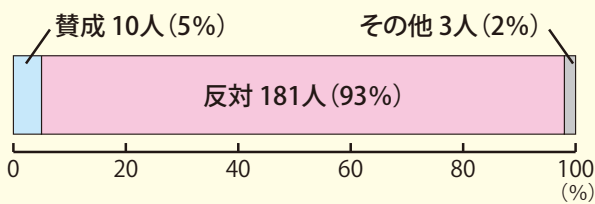
●議員はローテーション ●議員報酬は市民の活動費 ●選挙はすべて手作り

つくば・市民ネットワーク通信

2016年1月15日 vol.45

発行：つくば・市民ネットワーク
Tel&Fax:029-859-0264
つくば市二の宮2-1-3クラフトビル1F
tsukubahotnet@ybb.ne.jp
<http://www.geocities.jp/tsukubahotnet/>

総合運動公園住民投票アンケート結果



- 反対の理由 (複数回答)**
- ・市民意見を反映しない進め方 94人
 - ・規模が大きすぎる 88人
 - ・場所が良くない 82人
 - ・全く必要ない 62人
 - ・施設内容が問題 57人
 - ・その他 30人

市民ネット通信44号(2015年10月、35,000部発行)に掲載のアンケートハガキ136件と街頭アンケート75件のうち投票に行ったと回答した194件の結果

更には、この土地購入によって、固定資産税・都市計画税7000万円が減収となり、66億円の借り入れ利息3200万円の負担が生じています。市民意見を尊重していれば、年間1億円にも

「住民投票の会」は、この事業の真相究明と、市民の賛同を得られない事業を進めた責任を、議会として明確にするよう求める要望書を議長へ提出しました。これを受けて12月議会では、総合運動公園事業の検証と運動施設のあり方を調査する、地方自治法第98条の検査権を持つ「総合運動公園に関する調査特別委員会」が設置されました。特別委員会では「住民投票に至った原因はどこにあったのか」「土地購入を急いだ理由は何か」「なぜ市民の意志と大きくかい離れた計画を進めたのか」について検証をしっかりと行ってほしいと考えます。

私たちの未来は、私たちがつくる

新たな年を迎えて
昨年は総合運動公園基本計画をめぐる住民投票で走り続けたつくば・市民ネットワークでした。おりしも国では安倍政権の暴走に国民の怒りは沸騰し、官邸前では幅広い年代の人々が抗議の声を連日あげています。議会制民主主義の限界に気づいた人々が直接抗議にたちあがっているのです。市民の声を聴かない首長。国民の声を無視する総理大臣。共通するのは権力のはき違ひ。今年も市民主権を掲げて市民ネットは進みます。
代表 瀬戸裕美子

総合運動公園基本計画の賛否を問う住民投票では、投票者の8割が基本計画に反対し、計画は「白紙撤回」されました。
市民ネットでは、詳細な市民意見を把握するため、住民投票に関するアンケート調査を行っていきます。12月末現在、211件の回答中181名が基本計画に反対。その理由として「(施設は)全く必要ない」や「規模が大きすぎる」「場所が良くない」「施設内容が問題」に加え、最も多くの人々が「市民意見を反映しない進め方が問題」という結果となりました。

総合運動公園事業の進め方の何が問題点だったのでしょうか。市民ネットでは
①基本構想・基本計画に関する市のアンケート調査が行われていない。
②大穂地区の46haを66億円で購入した用地取得について、基本構想のパブリックコメント終了前に議決した。
③土地の購入価格について不明瞭な点があった。
などについて追及してきました。

土地購入に始まった進め方の問題点

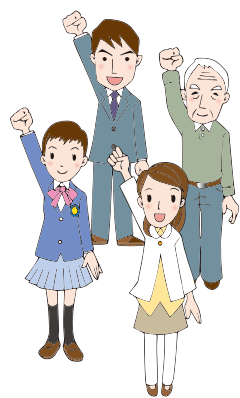
総合運動公園事業の進め方の何が問題点だったのでしょうか。市民ネットでは

調査特別委員会 立ち上がる!

及ぶ負担増は避けられたと考えます。

問題は、民意を軽んじるつくば市政の問題そのものと言えます。
このようなつくば市政を変え「私たちの未来は、私たちがつくる」市民自治を実現するため、市民ネットワークは、情報公開を前提とした市政への市民参加を確実に進めていきます。

総合運動公園問題 いよいよ検証へ!



議員と話そう!会

定例市議会の報告を兼ね、代理人(市議)の北口、宇野、皆川を交え、様々な情報と意見交換を行います。
ご都合の良い日程に、お気軽にご参加ください。

- 市民ネットワーク事務所 2月6日(土) 14時~16時
- 春日交流センター 2月7日(日) 14時~16時
- 荃崎交流センター 2月11日(祝・木) 14時~16時

竹園3丁目再開発 今こそ、市民の手でまちづくりを!

今議会で、竹園ショッピングセンターを含む竹園エリアの再開発について質問しました。

「地区計画」は守られているのか?

公務員宿舍跡地等の売却前に、地区の特性にふさわしい良好な環境を整備保全するために「地区計画」が定められています。しかし、日本の道100選、新・街路樹100景にも選ばれている東大通り沿いには、マンションの巨大な壁面がそびえたち、植栽帯は分断され、景観が損なわれている状況です。とても「地区計画」が効いているとは言えません。可能な限り事業者へ働きかけたいとの市長答弁に対し、規制力を持った方策を講じるよう要望しました。

施設一体型の小中一貫校に?

この再開発に伴い施設一体型小中一貫校の案が示されました。「この地区は幼保小中高と教育施設が集まったエリアとして魅力が



ある。現状のゆったりとした教育環境の良さがなくなってしまうのでは?」と心配する声があります。

この案については、まだ決まったわけではなくH27-28年度に詳細な調査をし、改めて教育局含む関係部局と検討していくとの答弁でした。

市民への説明と意見交換の場を!

早急に説明会が必要ではないかと質問したところ、1~3月でワークショップを開催し、市民の意見を募集するとの答弁でした。そこで、ワークショップの実施前に説明会や資料配布を要望しました。議会終了後の12/17につくば市HPに説明資料が掲載され、ワークショップを1/30(土)午後、2/12(金)午前開催(但し、竹園東中学校区居住者、各回先着30名程度)する案内が該当地区へ配布されました。

そこにある施設をどう使い、どんなコミュニティを作り、どんな環境にしていくのか、今こそ市民協働で取り組むときです。ぜひ、一緒に話し合っ意見を届けましょう!



つくば市議会議員
総務常任委員会副委員長

北口ひとみ

一般質問項目

- ・(仮)紫峰学園の進捗・準備について
- ・総合運動公園の土地問題
- ・週刊誌報道に関する市長の政治姿勢



つくば市議会議員
環境経済常任委員

皆川ゆきえ

一般質問項目

- ・太陽光発電(野立て型)
- ・水守地区のソーラーシェアリング(営農型発電事業)
- ・みどりの地区・葛城北部地区の小中一貫校の設計

みどりの、葛城北部 施設一体型小中一貫校 先行事例の課題をふまえた設計を!

平成30年4月開校に向けて、みどりの地区と葛城北部地区で施設一体型小中一貫校の設計が進んでいます。

4年前に開校した市内初の施設一体型小中一貫校である春日学園は、計画当初の想定クラス数を大幅に上回り、オープンスペースや特別教室等を普通教室として流用していますが、それでも足りず校舎を増築する事態が発生しています。

春日と同様、TX沿線開発地区であるみどりの・葛城北部の学校新設にあたり、住宅建設による児童・生徒の増加を見込んでいるのか質問したところ、「それはなかなか難しい」という教育長からの答弁でした。国立教育政策研究所の報告でも指摘されているように、クラス数の大幅な変更はハード面だけでなく、児童や生徒の生活などのソフト面にも影響が出るので、クラス数増加を見込んだ設計にするよう要望しました。

また、全国的にも施設一体型小中一貫校は小学校と中学校を一つの校舎にまとめるため、課題が多々あるようです。例えば、「体格も力も違う子ども達が安全に活動するための運動場は2つ必要」、「小学校45分と中学校50分という授業時間の違いを考慮した校舎配置が必要」、「クラス数が多すぎてプール授業時間を確保できない」、「中学校のテスト期間中は、小学生はグラウンドで遊べない」などです。

項目	春日学園		みどりの	葛城北部
	H21年計画時	H27年現在		
クラス数	34(増加分4含む)	48	27	36
運動場	400mトラック	400mトラック+サブグラウンド	グラウンド兼サッカー・野球場、テニスコート	
体育館	1箇所+柔剣道場		小学校、中学校用を配置	
プール	25m×8コースの温水	25m×6コースの常温	低学年の利用を考慮	
図書室	十分な広さを確保	混雑で低学年が利用しにくい	十分な広さを確保	
駐車場	台数想定なし	駐車スペースを増設	教職員・来客用に確保	
児童クラブ	想定なし	敷地内に建物を新設	1~6年生対象に120人見込み	

つくばでも市内で唯一の施設一体型小中一貫校の経験を今後に生かすべきです。そのためには実際に経験している学校関係者や保護者の意見を十分に聞き取り、新しくできる学校の設計に反映させることが重要と考えます。

新小中一貫校の設計をテーマに茶話会開催します~!

2月3日(水)10~12時 春日交流センター

「どんな学校になるの?」など、関心のある方はどなたでもご参加ください。

春日学園義務教育学校って、変わるのの名前だけ?

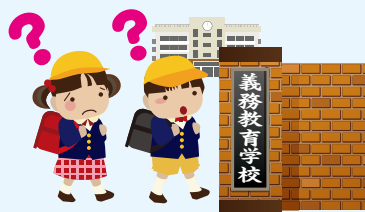
今議会で「つくば市立学校設置条例」の改正案が提出されました。この条例は、学校教育法で「義務教育学校」を新たな学校の種類として設置することが可能になり、つくば市もこの制度を導入し、「春日小学校」と「春日中学校」を「春日学園義務教育学校」に変更するというものです。

市民ネットワークは、義務教育学校の導入で何が変わるのか説明が不十分、小中一貫教育の検証もまだであり時期尚早、という理由で条例案に反対しましたが、賛成多数で可決されました。

文部科学省では「『義務教育学校』を設置する場合は地域住民や保護者とビジョンを共有し、理解と協力を得ながら進めていくことが重要」という通知を出しています。

しかし、つくば市では「義務教育学校」制度について地域住民や保護者には説明されていません。小中一貫教育の検証もまだなのに、制度だけがどんどん変わっている状況です。振り回されるのは学校に通う子ども達であり保護者です。

「義務教育学校」制度で何がどう変わるのか、めざすビジョンは何なのか、制度導入より前に十分な説明が必要です。



バス通学は(仮称)紫峰学園 全額補助が当然でしょ!

旧筑波庁舎・保健センター・市立病院跡地を一ヶ所にし、施設一体型小中一貫校(仮称)紫峰学園の建設が始まります。筑波地区東側の紫峰学園学区は平成29年4月から、筑波地区西側の百合ヶ丘学園学区では平成30年4月から、新設される小中一貫校に統合され、広範囲でバス通学がスタートします。バス代の保護者負担について教育長は「バス利用者・徒歩通学者・自転車通学者との間に不公平感が無いよう連絡協議会で話し合っいきたい」との答弁でしたが、今まで通学には不要だった費用。全額補助が当然でしょ!





つくば市議会議員
文教福祉常任委員会副委員長

宇野 信子

一般質問項目

- ・地域交流センター基本計画の検証と見直し
- ・障害を理由とする差別の解消
- ・水道料金見直し
- ・農地転用事業者と市長の関わり
- ・総合運動公園に係る懇談会に出た意見の生かし方

38%の値上げ?

水道料金値上げは本当に必要か、もっと議論を!

つくば市の水道事業は、赤字を改善すべきと監査委員から指摘され、上下水道審議会で2年間にわたり検討し、11月に答申が出ました。答申では、平均38%の値上げ、基本料金では現行2,800円を3,600円へ(口径20mm、2か月で20m³までの場合)という大幅な値上げ案が示されました。本当にそんな大きな値上げが必要なのでしょうか? そこで、12月議会で水道料金見直しについて質問しました。

水道事業は経営に要する経費のほとんどを水道使用者が料金として負担するという独立採算制で運営されており、収益的収支と資本的収支の2つに分かれています。

収益的収支は赤字が解消されつつありますが、資本的収支は施設の建設・整備などに対する長期借入金の返済(企業債償還)があるため毎年10数億円の赤字です。

これまで、赤字分は内部留保金(貯金)を取り崩してきましたが、この状態があと数年続くと底をつくため、答申では

水道料金等の値上げで経営の安定化を図ることが提案されました。一方、「資本的収支の財源として、一般会計から繰り入れること」との提案もありました。

それならば、これまでの設備投資である長期借入金の返済についても一般会計から繰り入れてはどうでしょうか。そうすれば、38%もの大きな値上げは必要なくなります。

つくば市の水道料金は県内で最低レベルの安さと言われますが、介護保険料や国民健康保険税は県内で高い方であり、家庭における税金や公共料金の支出の総額を考えると、簡単に値上げを容認することは出来ません。

今後の進め方について聞いたところ、市は「庁内で答申内容や事業等を詳細に精査し、慎重に検討する」とのことです。市民生活を圧迫するような値上げにならぬよう、引き続き働きかけていきます。



**国内最大級のソーラーシェアリング
市長が、ハワイで会った事業者…**

農業委員会の審議記録訂正へ!

水守地区に21haものソーラーシェアリング(※)建設が予定されています。昨年4月の農業委員会で農地の一時転用の認可を受けました。国内最大規模のものですが、農業委員会の議事録には【異議なし】で認可されたとあります。当日の傍聴者20数名は、継続して調査すべきとする旨の委員発言を聞いていました。ところが、議事録には記録されていなかったのです。録音を確認するよう強く要望しました。

直後に、農業委員会事務局から記録漏れの報告と謝罪がありました(議事録はつくば市HPでご覧になれます)。

このソーラーシェアリング事業者は、市原市長とハワイ旅行で行動を共にしたと週刊誌で報道された事業者です。その業者の事業認可に関わる審議の記録に漏れがあったわけです。

この事業が申請通り実施できるかどうか見届けたいと思います。



※ソーラーシェアリングとは、農地に支柱を立てて上部空間に太陽光発電設備等の発電設備を設置し、農業と発電事業を同時に行うことをいう。営農が適切に継続されていることが条件で、3年ごとに農業委員会の審査を受ける。

**筑波山で4カ所の
メガソーラー計画**

議会では設置反対決議

筑波山の中腹に4カ所ものメガソーラー(大規模太陽光発電施設)建設が予定されています。地元では、観光名所である筑波山の景観や、土砂災害の誘発、4カ所の計画のうち3つは国定公園内ということから、設置反対運動が起き、署名活動も始まっています。



つくば市議会12月定例会でも、地元住民の生活や観光客及び観光事業者に対する大きな影響が予測されることから、「筑波山中腹での太陽光発電所の設置に反対する決議」を全会一致で決めました。

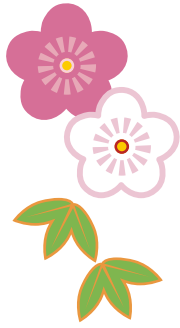
太陽光発電は自然エネルギーの活用という点で推進していくべきと考えますが、現状では、設置に関する具体的な規則がほとんどない状況で、周辺住民が知らないままに設置され、問題が生じています。設置にあたっては周辺住民の理解が重要です。そのためには、自治体へ設置申請を義務づける、周辺住民への事業者の説明会を推奨するなど、なんらかのルールや規制が早急に必要です。

現在、筑波山への太陽光発電設置について反対署名活動中です。ご協力いただける方は市民ネットへお知らせください!

2015年12月議会議決結果

「旧上郷高等学校跡地に特別支援学校を新設することを、茨城県及び茨城県教育委員会に意見要望することを求める請願」は引き続き調査を要すると閉会中の継続審査となりました。

議決の結果 (○:賛成、×:反対)	会派名	つくば・市民ネットワーク	つくば市民政策研究会	つくば自由民主党 ・維新の会	統一会派つくば 政清会・民主党の会	公明党	日本共産党	新社会党	筑峰クラブ	山中八策の会
市原市長に対する週刊誌報道に端を発する不倫疑惑や市内業者との癒着疑惑に関する問責決議	可決	○	×	○	×:塚本、飯岡 ○:木村修、木村清 棄権:大久保	○	○	○	×	
9年を一貫する小中一貫教育校を「義務教育学校」と位置付ける条例改正	可決	×	○	○	○	○	×	○	○	
マイナンバー法に伴い、市独自の事務への利用や特定個人情報の照会提供に関する条例	可決	×	○	○	○	○	×	×	○	
総合運動公園に関する調査特別委員会設置	可決	○	×	○	×	○	○	○	×	
各会派の所属議員(敬称略) *は会派代表 (議員数27 議長:塩田)		*北口 宇野 皆川	*古山 須藤、柳沢 高野、松岡	*五頭 久保谷、神谷 小久保、黒田	*塚本 大久保、木村修 飯岡、木村清	*小野 浜中山 山本	*滝口 田中 橋本	*金子	*鈴木	*塩田 (議長)



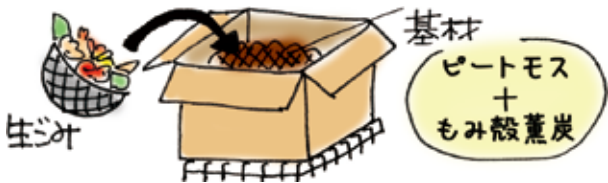
主な活動報告

- 10/16、12/9 議会活性化推進特別委員会(宇野)
- 10/20 認知症サポーター養成講座参加
遺伝子組み換えイネの研究開発の中止などを求める要請提出
- 10/24 戦争NO!安倍政権NO!10.24つくばアクション参加
- 10/25 議会報告会
- 10/31、11/1 環境フェスティバル2015出展(ダンボールコンポスト)
- 11/ 1 「九条の会茨城県連絡会」設立記念のつどい参加
- 11/ 3、12/15 つくばスポーツスタディグループ勉強会参加
- 11/ 7 ケンポー(憲法)おしゃべり広場協賛
財政学習会開催
- 11/ 8、9、10 議員と話そう会開催
- 11/ 9 議会全員協議会(北口、宇野、皆川)
- 11/11 ICTを活用した小中一貫教育研究大会参加
- 11/27 ダンボールコンポスト講習会開催
- 11/28 市民大学講座 しんどい思いの子どもたちに私たちができること
～貧困を「知る」から踏み出す「一歩」～ 参加
- 11/29 ハツ場ダムをストップさせる茨城の会総会参加
- 11/30～12/16 12月議会
- 12/ 5 つくば男女(みんな)の集い2015参加
- 12/23 街頭議会報告

※総合運動公園建設の是非を住民投票で問うつくば市民の会、放射能汚染から子どもを守ろう@つくば、脱原発ネットワーク茨城へも参加しています。
※テーマごとの部会活動の他、市の各種委員会・審議会等も多数傍聴しています(詳細はHPをご覧ください)。

ダンボールコンポスト講習会

3月4日(金)10時半～ 市民ネット事務所



ダンボール箱を使って生ごみをリサイクル!
実演を交えて、方法やコツをご紹介します。要予約
お申し込みは、029-859-0264(市民ネット)まで。

市長の業者癒着疑惑に つくば市議会が市原市長へ問責決議!

昨年9月末、衝撃的な写真とともに報道された市原市長のハワイ旅行での不倫疑惑・市内事業者との癒着疑惑。市長としての資質を問われると同時に、つくば市政に対する不信を招く大きな問題となりました。

議会では11月9日に全員協議会を開催し、その中で、市長自ら疑念が生じた点を認める発言がありました。つくば市長等政治倫理条例には「その職務に関して不正の疑惑を持たれるおそれのある行為をしないこと。」とあり、抵触しています。

さらに2015年12月議会では、市長のハワイでの訪問先が、元つくば市の入札業者であり、現在もその元業者の息子はつくば市入札業者として登録中であると判明。しかも、報道で密接な関係が問題視されたソーラーシェアリング事業者とともに行った、との市長答弁がありました。

そこで、市原市長に対し責任を強く問うべきと、12月10日、つくば・市民ネットワークが問責決議を提出。賛成多数で可決しました。(賛否の詳細は3ページをご覧ください)

問責決議には法的拘束力はありませんが、今後、市原市長がどのように責任をとるのか見届けたいと思います。

傍聴記

初めて市議会を傍聴しました。竹園地区開発について質疑応答があると聞き、市の考えを知りたいと思いを運びました。傍聴席には10名程度の方がいました。議員の質疑は周到に準備され熱意が感じられました。その質疑から、竹園ショッピングセンターと周辺の再開発のなかに、施設一体型小中一貫校の新設が盛り込まれていることを知りました。離れて存在する竹園西小学校、竹園東小学校と竹園東中学校をひとつにまとめるのでしょうか?多くの住民が関わってくる事にも関わらず、地域住民は全くと言ってよいほどこれらの計画を知りません。議員の方が、住民に周知する必要性と住民を巻き込んだ意見交換の必要性を訴える一方で、「住民への周知は難しい、最大限努力している」という市長の答弁には、住民とともに考えようとする積極的な姿勢は見えず、残念に思いました。計画の早い段階から住民が参加できるように、早急にワークショップなどが開催されることを願います。市と住民が歩み寄って地域開発計画が作られ、それが実践され魅力的な街ができあがれば、活気のある自治体になるのではないのでしょうか?住民として何ができるのかを考えていかなければ、と改めて感じました。

(T.M)

小出裕章講演会

— 福島原発事故から5年 —
どこへ行く?
原発と核のゴミ

2016年3月20日(日)
10:00～12:30
牛久市中央生涯学習センター
多目的ホール



講師
小出 裕章
元京都大学
原子炉実験所助教
入場チケット
¥1,000
(前売り券は下記へ
お問い合わせください)

お問い合わせ: 脱原発ネットワーク茨城講演会実行委員会
090-9299-3783(江口) 070-5079-6308(永井)

主催: 脱原発ネットワーク茨城
つくば・市民ネットワーク 協賛

つくば市の財政はどうなっている?

財政学習会の報告&連続学習会のご案内

総合運動公園の住民投票では、事業費305億円が大きすぎる、というのが、8割反対の大きな要因でした。では、一体いくらなら適正規模なのか、そもそもつくば市の財政はどういう状況なのでしょう。予算や決算を見てもわかりにくい自治体財政をもっと理解し、税金の使い方について建設的な議論ができるようにしたいと、昨年11月財政学習会を開催しました。

講師の大和田一紘さんは、長年にわたり全国各地で市民とともに自治体財政を分析し、市民財政白書づくりに取り組んできた第一人者です。今回は入門編ということで、市が公表している予算・決算情報の読み解き方や、経年変化、類似自治体との比較方法などを伺いました。

つくば市は貯金が増えているけれど、これだけ毎年余らせているのは、やるべきことをやってない可能性があるとのこと。もっと詳しく知るには、自分たちで財政分析の作業を試みた方がよい、とのことで、さっそく参加者有志で連続学習会を企画することになりました。

あなたも一緒につくば市の財政を考えてみませんか? ご参加お待ちしております。

財政学習会 全4回連続学習会

日程: 2月21日、28日、4月3日、10日
各日曜13時半～16時半
場所: 竹園交流センター大会議室

講師: 大和田一紘先生(多摩住民自治研究所理事)
参加費: 一般市民 4,000円、議員 15,000円
(全4回参加、テキスト代込)
主催: つくば市の財政を学ぶ会

申し込み・お問合せ: 電話 029-854-9840(古久保)
e-mail tsukubazaisei@gmail.com